



『KS プロジェクト』プログラミング講座の様子

ボストン2020を見据えた 特別講座「KSプロジェクト」

ベンチャーヒューマンデュケーション）の経験を組み合わせれば、新しい教育方法が開発できるのではないか、と、内外から期待されている。

「2018」に男子校として初めて参加。男子の視点からの意見を発表した。定員40名に対し、100名以上

「20118」は男子校として初めて参加。男子の視点からの意見を発表した。定員40名に対し、100名以上が応募するという人気講座「プログラミング講座」では、Appleの「Swift」を使ってアプリの制作に挑んだ。自分の頭に描いたものを実現させる

注目ポイント

- 3 2 1** JAXAとの共同研究に実践校として参加。
個々の興味・関心を深掘りするKSプロジェクト。
ポスト2020を見越した学校改革を推進。

行士は、国籍や専門が違うメンバーやが狭いスペースのなかでミッション

て、実践校として参加することになった。この研究においてのメインテーマは「非認知スキルを向上させる教材の開発」だ。「非認知スキル」とは、個別の知識や技能、思考力や判断力、表現力などの可視化できる「認知的スキル」に対して、主体性、多様性、協働性、学びに向かう力、人間性など、可視化が難しい、けれど

海城はJAXA（宇宙航空研究開発機構）とSpace BD'Z会グループが「宇宙イノベーションパートナー・シップ」という枠組みの中で行う次世代型放送事業の計画である。

教科の授業の枠、教科の枠に収まりきらない「とがつた」興味・関心を深掘りするディープな学びの場となつてゐる。また、校内で完結するこ

未来に花咲くための「種」を
今、生徒にまくのが海城の改革

「創造力と自己実現能力」、トライアンドエラーを繰り返しながら原因と対応策を突き止める「問題解決能力」を生徒たちが如何なく發揮していたという。

JAXA(宇宙航空研究開発機構
との共同研究開発などにより
体験学習をアップデート

```

graph TD
    A[吉川先生による説明] --> B[自分のこれまでの経験をもとにした自己啓発カリキュラム・デザインのための知識]
    B --> C[どのくらいがよいか]
    C --> D[「アカデミックライティング」]
    D --> E[学習習慣の実現]
    E --> F[自分自身で「アカデミックライティング」を実現]
    F --> G[何を知っているか 何ができるか]
    G --> H[既得の知識・経験]
    H --> I[知っていることとできることがどう違うか]
    I --> J[思考力・判断力・表現力を磨く]
  
```

学校改革の新たな展開

SCHOOL DATA

| | |
|-------|----------------------|
| 設立 | 1891年 |
| 併設校 | 海城高等学校 |
| 生徒数 | (1年)328名 |
| クラス編成 | (原則)40名 |
| 授業時間 | 8:35~14:55 (土)~12:25 |

ツトを介して届けている。現地の学校は実験器具が揃っていないため、この動画が彼らにとつて大きな学びとなる。そこで編集も、どうすれば見やすくなるか専門家のレクチャーやを受けて実践するなど、生徒たちは工夫を凝らした。また、持続可能な社会の実現のために議論する「SDGsゼミ」では、家庭科の教員が叩合致する。海城の学校改革は、文理融合のK.Sプロジェクトやアクティブラーニングの深化、個別の学力を伸ばすI.C.Tの活用など、両省の教育改革を先取りする形で進行していく。

開講の要件となっている。例えば「生物・化学実験の動画を撮ろう」というプロジェクトでは、少人数のグループで行つた実験動画を編集・デイブラー・ニングおよび、STEAM（科学、技術、工学、数学）に芸術や人文科学などアートを表すAを加えたSTEAM教育を推進すると表

大学合格実績(過去3年間)
東京、一橋、東京工業、京都、東
大、稲田、慶應義塾、上智、東京
理科、玉川など

海外交流校 / 有
帰国生入試 / 有
交通 / 新大久保駅(JR山手線)徒歩5分、
西早稻田駅(東京メトロ副都心線)徒歩2分

伸ばすICTの活用など、両省の教育改革を先取りする形で進行している。生徒の未来に大きな花を咲かせるための種まきとして。

**新大久保駅(JR山手線)徒歩5分、
西武新宿駅(東京メトロ副都心線)徒歩8分**